

令和4年度第2回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 令和5年(2023年)2月7日(火)10:00～11:00
- 会 場 横須賀市役所 3号館3階 302 会議室
- 出席委員 横須賀市スポーツ推進審議会委員(敬称略 50音順)
青木久代、加藤明成、加藤努、柏木雅一、東海林義勝、鈴木志保子、
平井慶一郎
- 事務局 文化スポーツ観光部 倉林孝英部長
スポーツ振興課 高橋哲也課長、前田幸一郎係長、蛭田茂穂係長、
松浦政行主査、片桐隆貴(記録者)
教育委員会事務局 学校教育部 保健体育課 鈴木課長
- 傍聴者 なし
- 議事内容 開会
1 横須賀市あいさつ
2 議 題
(1) 令和4年度スポーツ・学校体育関係事業の進捗状況について
(2) 横須賀市スポーツ推進計画の中間見直しについて
3 報告事項
横浜F・マリノス関連事業について
4 意見交換
- 資 料 1 次第
2 横須賀市スポーツ推進審議会委員名簿
3 令和4年度スポーツ・学校体育関係事業の進捗状況について
4 横須賀市スポーツ推進計画(中間見直し案)
5 横浜F・マリノス関連事業について(報告事項)
6 関係法令(参考資料)

【開 会】

1 横須賀市あいさつ

倉林文化スポーツ観光部長が挨拶を行った。

2 定足数の確認

12名の委員のうち7名の委員が出席しており、スポーツ推進審議会条例第4条に基づき過半数を超えていることから、会議は成立となった。

3 傍聴者の確認

傍聴者なし

4 議 題

(1) 令和4年度スポーツ・学校体育関係事業の進捗状況について

● 概要説明

事務局が資料2をもとに説明した。

【要旨】

- ・市民スポーツ教室や市民レクリエーション行事など予定どおり行われた。
- ・4年ぶりに開催されたスポーツフェスタ、3年ぶりに開催された「よこすかシーサイドマラソン」などに多くの参加者や観客で賑わった。
- ・西体育会館が工事完了となり、令和4年9月20日から使用を再開した。
- ・南体育会館は、令和4年10月から天井改修や空調新設工事のため、令和6年夏頃(予定)まで休館する。

● 審議・意見交換

委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

(2) 横須賀市スポーツ推進計画の中間見直しについて

● 概要説明

事務局が資料3をもとに説明した。

【要旨】

- ・第1回横須賀市スポーツ推進審議会の中で、委員の皆様にご意見をいただき、それを踏まえて、計画の趣旨は変えずに更に修正を加えた。
- ・修正を加えた部分としては、計画全体で文字のフォント変更や、写真を追加し、読みやすいレイアウトとした。
- ・「第2章 スポーツ推進施策」の「目標達成に向けた施策」の記載について、文化スポーツ観光部内や教育委員会、関係部署で行っている事業を反映させるなど見直しを図った。
- ・以前の計画は、第1章から第5章までの題目としていたが、今回の見直し案は第1章から第3章までの題目とし、計画全体のスリム化を図るとともに、計画内の目標を達成するため必要となる「スポーツ推進施策」を、より手厚く記載した。
- ・本案を持って市長に報告し、3月定例議会において市議会に報告を行う予定である。

● 審議・意見交換

委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

本案をもって横須賀市スポーツ推進計画の中間見直しとし、レイアウト等の軽微な変更については事務局に一任とすることとしてよろしいか。

⇒意義なし

(3) 報告事項

横浜F・マリノス関連事業について

● 概要説明

事務局が資料4をもとに説明した。

【要旨】

1 横浜F・マリノス練習場の一部供用開始について

- ・久里浜1丁目公園に横浜F・マリノスのトップチーム練習場が一部供用開始となった。
- ・1月10日(火)には関係者の方々をご招待して、さらにマリノス選手全員が参加してオープニングセレモニーを実施した。
- ・グラウンドオープン後には、併設される飲食施設やフットサルコートなどの一部施設が一般にも開放する予定である。

2 久里浜地区のスポーツを核としたまちづくりに関する五者連携基本協定

- ・F・マリノススポーツパークのオープンを契機に、横須賀市・横浜マリノス、F・マリノススポーツクラブ、JR東日本、京急電鉄による協定を締結した。
- ・今後の取り組みとして練習場を起点とした5者連携イベントの実施や、久里浜に行ってみてみたいと思うようなスポーツツーリズムを展開していく予定である。

3 久里浜F・マリノス通りと久里浜地域のマリノスデザイン装飾について

- ・地元からの要望により、京急久里浜西口駅前通りの愛称が『久里浜F・マリノス通り』に決定した。
- ・久里浜駅周辺から練習場までのまちなかをマリノスデザインで装飾することで、久里浜にマリノスがあることのPRや、にぎわいづくりに繋げて行く。
- ・地元の協力を得て、市民、クラブチーム、行政が一体となって街づくりを進めていく。

4 横浜F・マリノスを応援する給食の提供について

- ・練習場のオープンに伴い、市内の小中学生にマリノスへ関心や愛着を持ってもらうために、マリノスゆかりの学校給食の提供を行う。
- ・提供する献立:フェイジョアアード
マリノスにはブラジル出身の選手が5名所属しており、その郷土料理であるフェイジョアアードを献立として選定した。
- ・全校生徒に家庭で作れるレシピや、練習場のPRなどを記載したチラシを配布するとともに、選手からのメッセージ動画を撮影し、給食の時間に各校で放送する予定である。

● 審議・意見交換

□ 委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

5 意見交換

□ 委員長

意見交換に入ります。質問や各団体の行事の告知でも構いませんし、情報交換の場として委員の皆様にご意見の頂ければと思います。どなたかご発言はありますか。

□ 委員

昨年、全国障害者スポーツ大会に役員として参加した。横須賀市からは選手8名が参加し優秀な成績を残した。横須賀市では、特に水泳と卓球は盛んであり、成果が上がってきたと実感している。競技役員の参加が2名と少なく、我々指導者ももう少し頑張らなければならないと思う。コロナで中止になった全国大会が令和5年度特別大会として開催されるので、多くの選手に参加していただけるよう指導を頑張っていきたい。

推進計画に、スポーツを楽しむ機会を入れていただき、ありがとうございます。大規模大会の誘致に関しても相談させていただきたい。

□ 事務局

障害者スポーツに注目していかなければならないと感じている。また、一般の方の同スポーツへの認知、体験が大切だと考えている。市が行っているスポーツフェスタへの、障害者スポーツ指導者協議会のご協力をお願いしたい。

□ 委員

ねんりんピックの際、駐車場に入場する参加者の車が長蛇の列ができていた。当日、野球場、テニスコートを利用する一般市民は、使用開始時間までに使用料金を支払う必要があるが、駐車場の混雑のため車を停めるのに時間を要し、支払いが間に合わず、利用することができなかったケースがあった。秋山選手の練習公開の際も、同様であった。いずれのイベントも一般市民にはあまり知られていないため、駐車場の入り口に1か月程度前から混雑予告の看板を掲出するなど、開催によるマイナス面を想定した準備を行ってほしい。

ねんりんピックでは、試合は県内各所で行われ、閉会式は横須賀で行われた。多くの方から、横須賀に魅力がなく、試合には出るが閉会式には参加しないと言われた。横須賀も他の人気観光地に劣っているとは思わないので、もっと横須賀の良さをPRしてほしい。

□ 事務局

ねんりんピックについては、告知が少なかったと反省している。駐車場の混雑についても認識しているが、限られた駐車スペースのため、具体的な解決策は難しい。今後も、事前の周知についてはSNSなどを通じて告知するとともに、ご提案についても努力していく。

□ 委員

ウインドサーフィンが定着するなど新しい取り組みを行っているが、宣伝が少ない。観客が少ないのでは大会の参加者、主催者にとっても残念なことである。PR方法をもっと考えてほしい。スケートボードは、若年層から世界で活躍できる競技なので、横須賀でも大会の誘致を進めてほしい。青少年には一流のプレーを見せることが刺激となり大切なので、バスケットなどのプロチームの試合誘致を、施設のキャパティシーの問題で難しいと思うが進めてほしい。高齢化が進む中で、生涯スポーツについても、少し足を運べば運動に親しむことができる身近な場ができればよいと思う。

□ 事務局

PRについては、努力しているつもりだが、なかなか行き届かない面もあり反省している。今後は、より一層強化していく。プロスポーツについては、野球とサッカーのプロチーム、両方の拠点(追浜・久里浜)があるのは、政令市を除くと横須賀市だけであり、それぞれの競技を行っている子供たちにとっては、将来の夢を抱くうえでも良いことだと思う。バスケの誘致については、今ある施設をできるだけ活用し、Bリーグは無理でもWリーグのリーグ戦を横須賀アリーナで行っていただくなどしている。また、川崎ブレイブサンダースの選手による学校訪問やバスケ教室を行うなど、一流の選手やそのプレーに触れる機会を増やしていきたいと考えている。生涯スポーツについては、スポーツ協会を中心とした横須賀総合型地域スポーツクラブに、様々なスポーツ体験ができる機会を設けていただいている。今後も市としてバックアップを続けていくので、協会にも引き続きご協力をお願いしたい。

□ 委員

個人的な意見だが、マリノスの給食は大変良い企画だと思う。しかし、子供たちが嫌う豆をメインに使うと残食が生じるのではないかと懸念する。とても美味しければ、豆を見直すことに繋がるかもしれないが、ガサガサしたものを飲み込めない子供が多くなっているため、メインではなく副菜から始めても良かったのではないかなと思う。

サッカーのワールドカップもそうだが、スポーツを見る側で楽しむことが、今の時代は無視できなくなっている。この推進計画では、見る側の人々が健康だからこそ、スポーツを見て楽しむことができるといったメッセージが弱い。横須賀市は見る側の人達も楽しむことができるように、プロリーグ等を誘致しているといったイメージを盛り込むと、今の時代に合った推進計画になると思う。

コロナ禍で中断しているが、スポーツ協会とアスリートのための栄養学の講座を開催している。その一環として、パラアスリートのための栄養の考え方、一般と同じところと異なる点などを知っていただく、パラアスリートのための食生活の講座を開設してはどうかと思う。また、食生活の講座には、小中学校の先生方にもぜひ出席してほしい。

□ 事務局

マリノス給食の件については、言われてみれば、そうかなと思う。今から変更はできないので、次回から考慮していく。

見る側の人については、スポーツは不得手だが見るのは好きだという方々も楽しめるような環境づくりを検討していきたい。講座については、ぜひ開設してほしい。

□ 委員

コロナ禍の中で中止していたスポーツ行事が復活し良かったと思う反面、コロナのため様々な制限を一時に元に戻すことで、何らかの弊害が出てくることも予測される。障害をきたさないような学校スポーツを考えていきたい。

コロナ禍のため子供たちも2年間スポーツから離れており、その意味でもスポーツを見る側を大切にするのは重要だと思うし、横須賀市は力を入れていると感じている。実際のところ、以前は中学生のほとんどがジャイアンツファンだったが、最近ではベイスターズファンばかりである。

□ 事務局

この1年はスポーツ行事をしっかりと行うことができたと思う。その中でも新しいものとして、ストリートダンスの大会誘致や FIFA ワールドカップのパブリックビューイング、よこすかこどもスポーツ障害予防クリニックを行った。特に、よこすかこどもスポーツ障害予防クリニックは、個々の子供たちの体の可動域の検出による適合スポーツのアドバイスや、スポーツ障害の早期検診を理学療法士が行う子供たちを対象とした講座と、指導者を対象とした子供たちのスポーツ障害を防ぐための講座をセットにした内容で、非常に好評を得た。今後もこのような新しい試みを続けていきたい。

□ 委員

生涯スポーツを考えたときに場所がない。地域の小学校を使う方法などを考えないといけない。何をやるかではなく、そこに行けば何か自分のやりたいことができる場所をまず作らないと、高齢者は外に出ることがない。その後、内容や設備を考えればよい。今は、場所がないために高齢者の動きが止まっていると感じている。私たちが行っているレクリエーションを広めるうえでも、そういった場が必要だと思う。

□ 事務局

身近な場所ということでは学校が良いが、学校は第一義に教育施設なので子供たちの活動の余剰時間を生涯スポーツに活用していくことが前提となる。横須賀総合型地域スポーツクラブは、子供たちの授業や部活の隙間を縫って様々なスポーツを行う場を地域住民に提供している。将来的にはレクリエーションについても、その中に取り込んでいければ良いと思う。いずれにしても、地域に開かれた学校施設にしていければと思っている。

□ 委員

学校側としては、部活動が地域に移行していく中で、特定のスポーツに集中したい生徒だけではなく、単に体を動かしたい、様々なスポーツを体験したいという生徒の受け皿も必要だと思う。その意味で、制度等の整備は必要であるが、学校を生涯スポーツの場とすることは、地域への移行の面からも大切なことだと思う。

□ 委員

高齢者の通いの場が問題となっており、場を設定しても高齢者は楽しくなければ通わない。習字などの文科系を楽しみたい方、スポーツを楽しみたい方とそれぞれいいの中で、スポーツや生涯学習といった縦割りではなく、世代としても、高齢者と子供たちが一緒に利用でき、様々な人たちが交流する本物のコミュニティを横須賀市なら作れるのではないかと思う。

□ 事務局

スポーツを楽しむ以外の方にも楽しめる場を作ることが理想像だと思う。今後の参考にさせていただきたい。

- 以上で、審議が終了し閉会した。